

花壇づくりワークショップ ニュースレター

Vol. **03**
令和3年11月26日号



日時：令和3年11月26（金）

9：00～12：15

場所：馬見丘陵公園

ボランティアハウス

参加者：20人

9：00～9：10 秋花壇の振り返り

9：10～10：00 スキルアップ講座2

10：00～10：10 休憩

10：10～11：50 花壇デザインワークショップ

11：50～12：00 グループ発表

12：00～12：15 質問・アンケート



1. 秋花壇の振り返り講座

今回のワークショップでは、花壇づくりワークショップ（秋花壇）の振り返り、スキルアップ講座2、花壇デザインワークショップ（春花壇）の3つを行いました。

はじめに、振り返り講座では、秋に作成したボーダー花壇を振り返りました。グループごとのデザイン案・完成した花壇の写真を交えながら、花壇の作業工程や、芝生張り講習等を振り返りました。

1班のデザイン・施工

9/29(施工風景)

施工日と3週間後の比較

施工日

3週間後

1. カラーガーデンとは (例: 集いの丘、馬見花苑)

①花の色の魅力が最大限に映えるカラーガーデン

②組み合わせで4タイプのイメージ

ピゼット

パステル

ワンカラーガーデン

シンクハースト・キャスセル

モダン

シック

▲スライド内容



2. スキルアップ講座 2

今回は、地域や自宅の花壇（庭）づくり等で参考になるような場所を公園内からいくつかピックアップし、その花壇の特徴についてご紹介させていただきました。どんな花壇にしようかな、こんな花壇にしたいけれど、参考になる場所は、育てるにはどういう環境が良いか等、実際に現地を歩いて体験してみましょう。きっとさまざまなアイデアが浮かんでくると思います。今日ご紹介したのはほんの一部ですが、今後の花壇づくりに役立てれば幸いです。

2. ローズガーデン (バラ園)

多少日当たりが悪くても、管理が上手でなくても、それなりに花を咲かせ、10年、それ以上も賑やかに彩ってくれます。まず1本の苗木を育ててみましょう。きっと育てる自信がつかはず。



4. シェードガーデン (流れのある坂道)

まずは、植える場所の日陰がどんな条件なのかを認識しましょう。そして、耐陰性のある植物を中心に、スペースの条件に合った植物をあしらえば、日陰を美しく演出できるはずですよ。



馬見丘陵公園は様々なテーマのエリアで構成されています。今回、花壇や庭づくりのヒントとなるような要素をピックアップした「庭づくりのヒントマップ」を作成しました。テーマを決める時にヒントになりそうな場所をマップ内に挙げているので、作りたい花壇や庭のイメージに合う場所を選んで実際に散策してみましょう。どのような環境で育つかを体感することでよりイメージしやすくなります。まずは作り方を真似をしてみると、特徴をつかみやすいでしょう。

1. カラーガーデン (馬見花苑、集いの丘)

カラーガーデンは、花をどう配置するかによっても、表情に変わりが生まれます。さまざまな色、さまざまな高さの花を混ぜてランダムに植えると、野趣が感じられる、ナチュラルな雰囲気に。



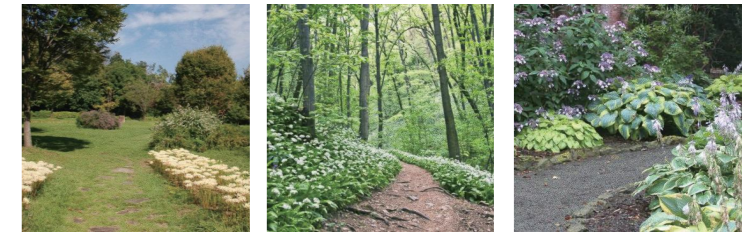
3. バードガーデン (古墳の丘周辺)

植える木は、昔から地元にある木を選ぶようにすると、地域に生息している小昆虫が集まり、鳥が来るようになります。また、実のなる木を用意することも、バードガーデンにとって大切です。



5. 山野草の庭 (水分広場)

山野草を育てるには、まず個々の特性を知ることが大切です。それぞれに合った自然の中で育つデリケートな植物なので、実際に野山を歩いて自生環境を調べてみましょう。



庭づくりのヒントマップ

①馬見花苑

①集いの丘

①県民協働花壇

②バラ園

③古墳の丘

④流れのある坂道

⑤水分広場

①カラーガーデン

②ローズガーデン

③バードガーデン

④シェードガーデン

⑤山野草の庭

▲庭づくりのヒントになりそうな箇所

○説明書の番号

▲庭づくりのヒントマップ

裏面に続く→



3. 花壇デザインワークショップ (春花壇)

①花壇テーマを決める

今回も秋花壇デザインの時と同じく、いくつかのキーワードをご用意しました。「暖かい」「ワクワク」「鮮やか」「フレッシュ」「始まり」「若葉」といった候補の中から、テーマに相応しい言葉を組み合わせました。キーワード以外にも様々な意見を出してもらい、皆で話し合った結果、テーマは「**ワクワクの始まり**」に決定しました。春の訪れを感じさせる、良いテーマですね。

陽気	暖かい	ポカポカ	芽吹き
カラフル	新しい	うららか	ワクワク
鮮やか	パステル	優しい	かわいい
フレッシュ	始まり	ボーダー	絵画
花	満開	カーペット	ひな祭り
落ち着いた	ナチュラル	まったり	春
香る	新緑	雪解け	若葉

▲春のボーダー花壇 キーワード

②資料を活用する

花壇デザイン時には花壇デザインシートの他に、「花苗大きさ見本表」をご用意しました。

こちらは花苗が将来どれくらいの大きさ・広がりになるかをまとめたもので、シート作成時に参考にしようとするものです。花の特徴や開花時期、植え付けや種まきの時期なども簡単にまとめておりますので、また地域等で同じ品種を植えられる際などにご活用ください。

花苗大きさ見本表	
低	中
高	コンテナ

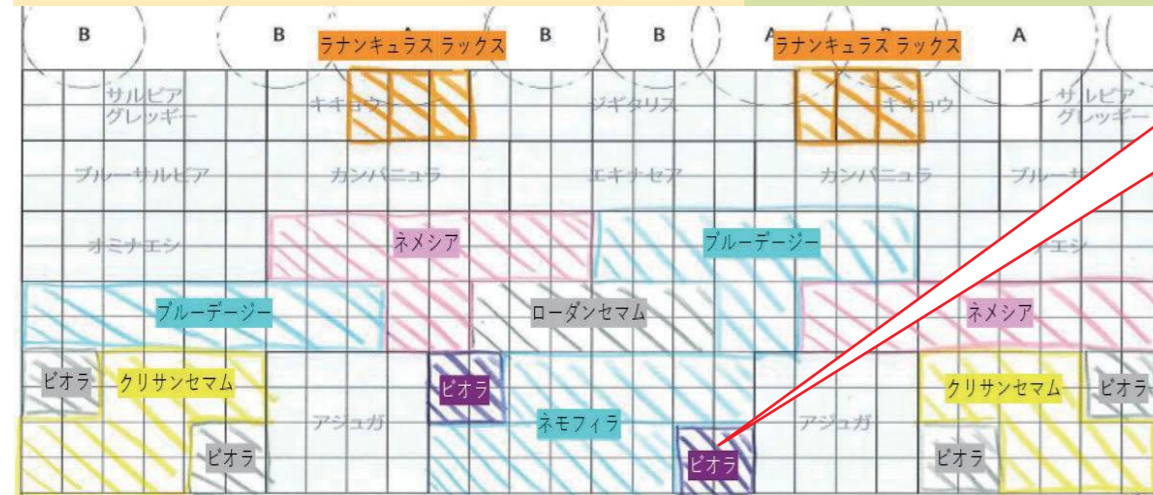
▲花苗大きさ見本表

③花壇のデザインを考える

シートを作成する際は、植える花の大きさ、色を慎重に考え、配置していきます。色の組み合わせ方や並べ方を試行錯誤しながら、隣の花苗との高さ等も考えながら、バランスのとれたものにしていきましょう。

[植えるポット数の算出方法]

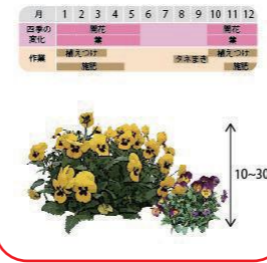
- ①使用する花苗と色を選び、マス囲う
 - ②囲ったマスを塗る
 - ③塗ったマス目を合計して ÷2 する
- (例) ネモフィラの場合
マス目の合計 = 24 ÷ 2 = 12 ポット



▲デザインシートの描き方・考え方



パンジー、ビオラ
Violet × mirrorkrone
サンキキミレ(三色種)
花色: ●●●●●●●●●●●●
スミレ科/宿根性宿根草(一年草扱い) / 原生地: ヨーロッパ(中北部) / 花径: 2~12cm / 草丈: 10~30cm / 株張り: 10~30cm
冬・早春花壇の主役・パンジー・ビオラの魅力は、寒さに強く、晩秋から初夏まで半年以上も咲き続けること。便宜的に花の直径が3cm以上をパンジー、3cm以下をビオラと分けているが、厳密な違いはない。

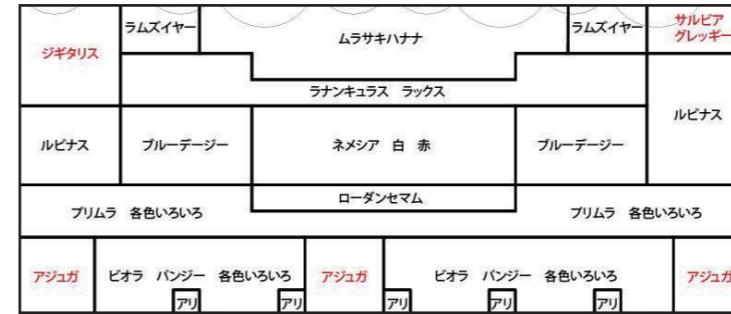


▲見本表の一例

③グループ発表

花壇デザインシートに各自デザインしてもらい、グループで1案にまとめていただきました。話し合いをすることで、良い点・悪い点が整理でき、バランスの取れたデザイン案に仕上がりました。グループ発表では、それぞれ最終的にできあがった案を、デザインをするにあたって気をつけた点や花壇のポイントなどを代表者に発表してもらいました。本日作っていただいたシートはこちらで微調整し、清書したものを施工日当日にお渡しします。皆さんお疲れ様でした!

2グループ案



デザインした点:

後ろのほうはムラサキを並べ、前のほうはビオラ、プリムラを並べました。

4グループ案



デザインした点:

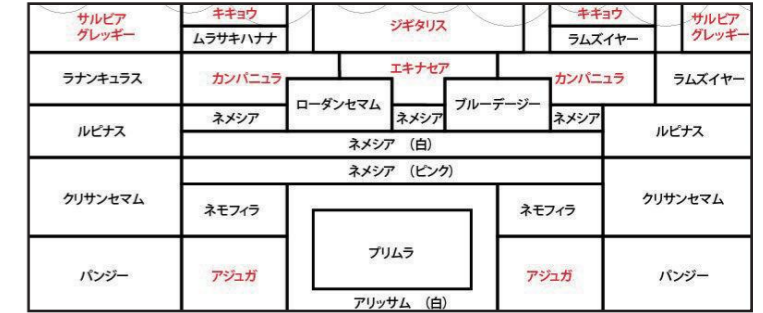
ジギタリス、カンパニュラは残し、周りにプリムラ、ビオラで色付けをしました。

最後に

花壇施工時の施工図面は、右図のように花苗の名称と写真を記載するかたちで、それぞれ6グループ分作成致します。花苗の判別や、名称を忘れた場合などはこちらの図面を見て再確認しましょう。繰り返し確認することで、自然と覚えらるようになるはずですよ。

ワークショップは、早いもので残すところ1回となりました。3月16日(雨天の場合は18日)の春花壇施工をもって今年度のワークショップは終了となりますので、忘れずご参加下さい。

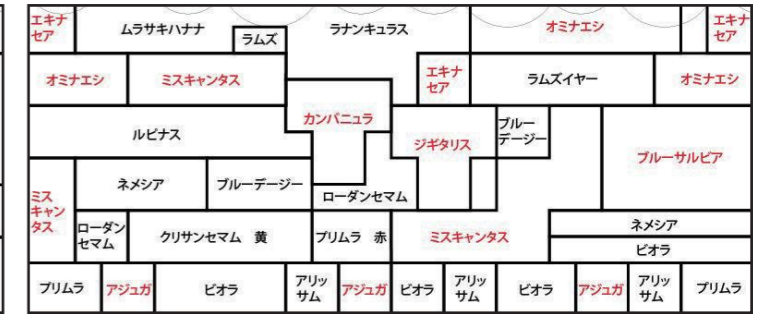
1グループ案



デザインした点:

プリムラを中心に明るい色でまとめました。

3グループ案



デザインした点:

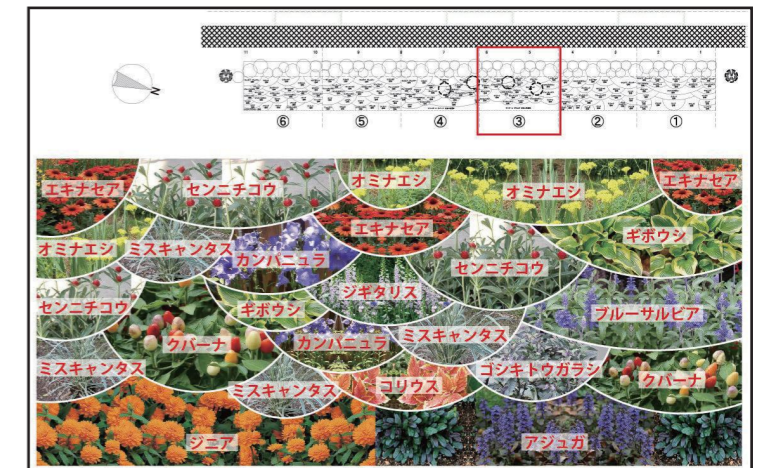
なるべく奥のほうは残し、前のほうをにぎやかにしました。

5グループ案



デザインした点:

既存のグリーンを残しつつ、花を植えました。



▲春のボーダー花壇施工図面 イメージ